鶴見区区政会議 令和元年度第2回防災・防犯部会議事録（要旨）

1 日 時 令和元年9月30日（月） 19時00分～20時49分

2 場 所 鶴見区役所 3階 303会議室

3 出席者

（委員）

田中（潔）部会長、西口副部会長、内野委員、岡出委員、早野委員、
宮本委員、西村委員

（区役所）

長沢区長、嶋原市民協働課長、尾崎市民協働課長代理、
黒田市民協働課担当係長、家熊市民協働課担当係長

4 議 題

- 1 区政会議における意見への対応状況
- 2 令和2年度鶴見区運営方針のたたき台について
- 3 鶴見区区政会議委員評価シート（結果）
- 4 区政会議に関するアンケート（結果）
- 5 その他

5 議 事

（1） 長沢区長開会のあいさつ

（2） 令和元年度第1回全体会における主な意見の説明

➤ 委員からの質問・意見等

- 特になし

（3） 令和2年度鶴見区運営方針のたたき台について説明

○安全なまちづくり（防災・減災）

➤ 委員からの質問・意見等

- 災害時の通信手段としてLINEは有効であるが、スマートフォンを持っていてもLINEを使えない方がいる。防災訓練の時にでも講習をしてはどうか。

- 実施方法を含め検討する。
- 区全体のハザードマップではなく、地域対応型のハザードマップにすることによりエリアの状況を拡大して見るができるようになり有用ではないか。
- 災害時に事業所は力になると思うので、「災害時地域貢献協力事業所の情報を地域と共有し、協力事業所に訓練参加を呼びかける」については、具体的にプランニングしてもらいたい。
 - 協力事業所に声がけしていく。
- 高い木が倒れることで電線が切れ、停電になるなど、危ない所の見回りを連合ごとでやるのが減災に繋がると思う。
- 無電柱化計画については予算を含め、鶴見区だけで解決できない問題と思うが、国に求めることはできないのか。
 - 災害対策に関わるワーキンググループの会議に、意見として伝える。
- 町会に加入したくないからマンションに引っ越したという話も聞くが、加入することで、防災など見えないセーフティネットで守られているなど町会の必要性を打ち出していただきたい。

○安全なまちづくり（防犯）

- 委員からの質問・意見等
 - 特殊詐欺の防止策として、電話のディスプレイに知っている相手の名前が出なければ、電話に出ないよう啓発をしていただきたい。
 - 高齢者が集まる高齢者食事サービスや、100歳体操に区役所が出向き、電話に出ないことが一番の防止策であるなど講義をしている。今後は寸劇も取り入れた、分かりやすい啓発を行う。
 - スマートフォンなどに警告メッセージや不信メールが突然入り込んできて、その警告等に従い被害にあうケースもある。
 - 犯罪の手口は変化するため、情報を入手して、効果的な啓発に努める。
 - 防犯パトロールののぼりがなくなって、たすきだけになり目立たない。同じ歩くなら何をしているかわかるように、ベストなどの目立つものでアピールする方が良いのではないか。
 - 検討する。

○安全なまちづくり（交通安全）

- 委員からの質問・意見等
 - 放置自転車対策のための啓発ティッシュを配っても、若い人は受け取ってくれない。効果に疑問がある。啓発はタスキでは目立たず見てくれない。

何をしているか見て分かるような工夫をしてほしい。

- 自転車の保険や値段の安さから自転車が大事にされず、盗られたものなどそのまま放置され放置自転車になるケースもある。道徳的視点にはなるが、大事にするなどの啓発も必要ではないかと思う。

(8) 事務連絡